

防災ボランティアについて学ぶ

～土手の花見で楽しみながら～

特定非営利活動法人 みえ防災市民会議
議長 山本 康史

1

今日の話題

- 自己紹介に代えて
～私の防災ボランティア活動紹介～
- 同じもの？ 違うもの？
～ 自主防災組織と防災ボランティア団体～
- 災害時のボランティア活動の流れ
～災害ボラセンってどんなところ？～
- 日頃から地域で防災力を高めるには？
～ 「土手の花見」の発想で～

2

私の防災ボランティア 活動紹介

3

はじまりは阪神・淡路大震災 ～ボランティア元年～



4

仲間たちと出会った ナホトカ号重油流出事故



5

様々な切り口でできる 災害ボランティア活動

例えば、、、

- 被災した家の中の掃除・片付け
- 避難所暮らしのサポート
- 巡回紙芝居などの子供たちの遊び支援
- 炊き出しや物資支援
- 義援金、ボランティア活動支援金の募金

6

様々な切り口でできる 災害ボランティア活動

- 一時疎開受け入れ・支援
- 散髪や化粧、マッサージなどの技能支援
- 被災家財の分別回収、資源化
- ペット一時受け入れや野生動植物支援
- 復旧・復興イベントの企画
- 観光や名産品購入など事業活動支援 等々

7

災害ボランティアから 防災ボランティアへ

- 亡くなった人を生き返らない！！
- 起こってから泣きながら片付けるより、
起こる前に備えておけば・・・
- 災害救援→防災啓発

でも、何をやっていけばいいんだろう？

8

自主防災組織と 防災ボランティア団体

「互助」と「共助」

9

違うところ

- 地域主体（地域割）
- 分野主体（分野割）
- 地域住民が構成
- 仲のよいメンバー
- 行政と強い繋がり
- 行政とは補完的
- 地元地域中心
- 他地域支援も視野
- 意志決定は
日頃の手順を尊重
- 意志決定は
個々人の想いを尊重

自助・共助・公助

10

違いはたくさんある。でも!!

災害による被害を
少しでも減らしたい!
という想いは同じ!!

互助（自主防災）と共助（ボランティア）
どちらの力も活かせる地域の受け皿づくりが大切
＝「受援力」

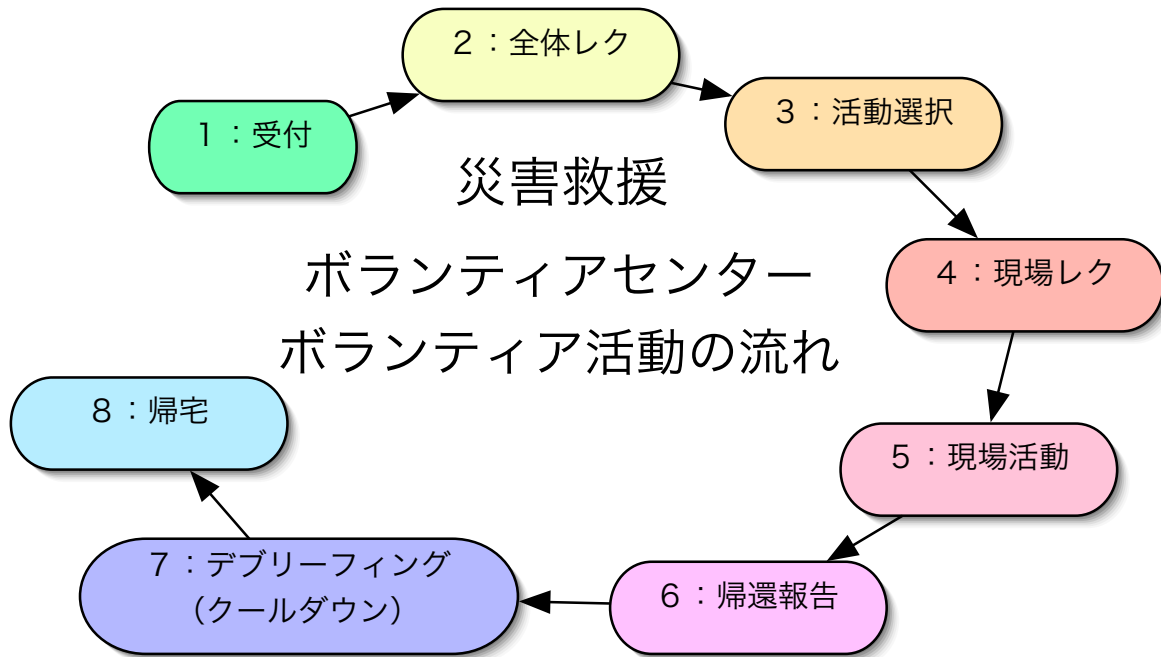
11

災害ボラセンって
どんなところ？

ある災害ボランティアセンターの一日

12

災害救援 ボランティアの流れ

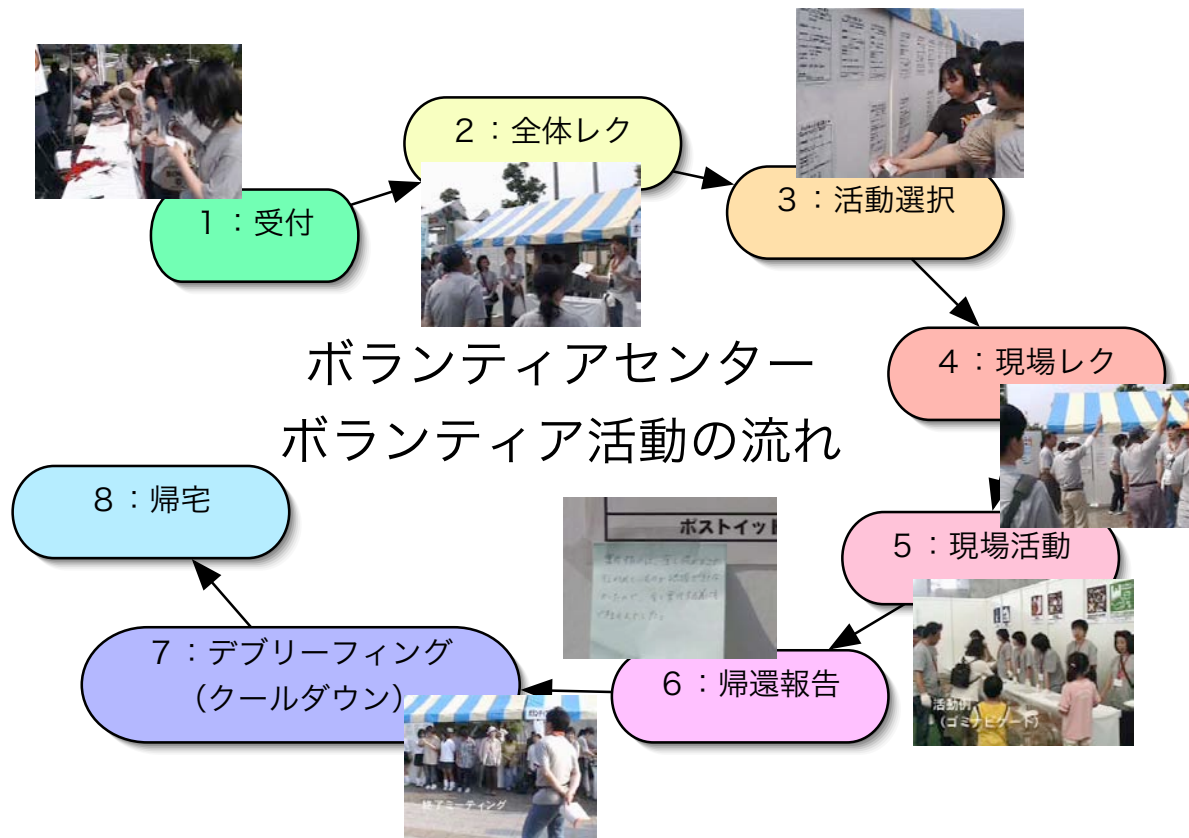


13

「土手の花見」の発想で

14

イベント ボランティアの流れ



15

『土手の花見』とは

- 河川の堤防・・・桜の土手
- お花見・・・毎年春に開花
美しく楽しいことなら、ずっと続く
- 花見客の効用
・・・仲間ができる（直接）
知らずのうちに出水期前の土手を
踏みしめている（間接）

楽しい年中行事が、知らずのうち防災につながっている。

16

まとめ

- 様々な防災ボランティア活動がある
- 自主防災組織も防災ボランティア団体もめざす目標は『同じ』
- 災害ボラセンの運営は「受援力」の集大成
- 様々な課題に多くの人が積極的に取り組んでいる地域は災害にも強い